# キャンプファイヤー・キャンドルサービス

## 1　意義

**・暗い空間を明るくする炎による幻想的な雰囲気の中で，楽しく過ごす。（親睦・交流）**

**・スタンツの内容や練習などから本番までの取り組みを通して，仲間作りを深めることができる。**

**・楽しさを規律を守りながら味わう。**

**☆意義・ねらいの達成のために事前の指導を行うことが必要である。**

## 2　スタンツについて

☆スタンツとは，班ごとに行う歌やゲームなどのレクリエーションである。

☆指導者は，事前に場所の明るさや広さを十分に考え，みんなが楽しく過ごすことができるものになるよう事前指導を行う。

留意点

・人を傷つけるような内容はあってはならない。

・友達のスタンツを野次ってはいけない。

・特定の子だけでスタンツが成り立ってはいけない。（みんなで協力すること）
必ず順番でみんなが行う。みんなで話し合い・協力が必要であるからこそ仲間作りができる。

指導者は，班内の動きを注意深く観察し，指導する。

## 3営火長の言葉（例）

**キャンプファイヤー（第1部）**

昔，われわれの祖先は火を使うことをおぼえました。暖かい熱を得，食べ物を調理することを覚え，外敵から身を守ることができるようになりました。そして人間の暮らしはとても豊かになりました。

しかし，今までの長い歴史の中で火を正しく使わなかったために，人類が不幸に陥ったことも数多くあり，今この時も多くの命が危険にさらされていることを忘れてはなりません。

火は，人間だけが持つ宝です。私たちはこの大切な火に感謝し，人類の幸福と平和に役立てていかねばなりません。皆さんにとっては，今ここに集った仲間を大切にし，これからの学校生活をより良いものにしていくことが必要です。

それではしばらくの間，楽しい仲間作り・思い出作りのひと時を過ごす事にしましょう。

（ファイヤーのねらいに沿って，また子ども達に考えて欲しいことをメッセージにすると良いと思います。）

**キャンドルサービス（第3部）**

皆さん，皆さんの手の中にあるろうそくの火をじっと見つめてください。とても小さな火だけれど，皆さんのために明るい光と暖かい熱を与えてくれます。

生活の中で楽しいことつらいこと，いろいろなことがあると思います。そんなときでも明るい笑顔と暖かい心を持って友達と接して欲しい，仲間の輪を広げて欲しい。そうろうそくの炎は語りかけているのではないでしょうか。

ろうそくを静かに上げてください。

とても美しい炎の輪ができました。このきれいな炎の輪は，決して独りでは作ることができません。ここに集うみんなが全員揃って初めて素晴らしい輪ができるのです。

これからの生活の中でも一人一人が大切な存在として，輝いていけるようにこの宿泊学習を実りあるものにしていきましょう。

そして，皆さんの心にともったいろいろな思い出の火がいつまでも燃え続けることを願っています。